



愛川ふれあいの村 今月の風景

2021年9月 自然のたより

何回目でしょうか。緊急事態宣言が発令されて外遊びがしにくい状況が続きます。そんなことを知ってか知らずか、モズがしきりに鳴いて管理棟の近くをせわしなく行ったり来たり。からっと晴れた日が少ないようにも思えた9月は、たくさんのキノコに出会うことができました。秋を彩る花々が咲き、村のチョウやハチは活発に飛び回ります。丹沢では紅葉情報も出始め、もうそんな時期かと移り変わりの速さを思い知ります。(石川)



テングタケ 



ヤマボウシ



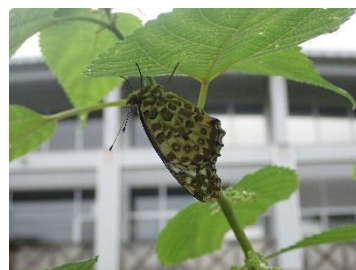
ネキトンボ



モズ



隠れ身の術 (ニホンヤモリ)



ツグヒヨウメイの雨宿り



食事中のシカ



シモバシラ



ヌメリイグチ



ヤマノイモ



2色のゲンノショウコ



アカスジキンカメムシ



ヤナギマツタケ



クロメンガタスズメ



クモの巣の芸術

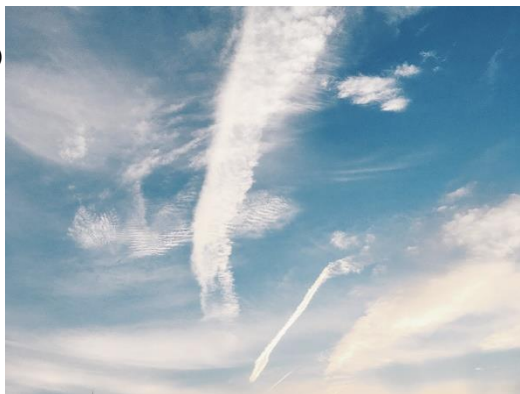
トピックス ★台風一過★

夏から秋に差し掛かるころ、日本に台風が近づいた。夕暮れとともに、薄灰色の雲が空を覆う。不穏な風が木々を揺らし、甲高く秋の鳥が鳴いている。雨風が強まる前に帰宅。自宅の駐車場に着くと同時にどしゃ降り。シートを倒して、しばらく車内で雨が弱まるのを待つことにした。ぼつぼつと車のルーフトップを叩く雨音が、車内を包み込む。車内で聴く雨音は、耳が洗われるような心地よさがあった。近所の犬が空に向かって吠えている。台風の前のそわそわする気持ちは、大人になっても変わらない。

翌々日に雨は上がり、台風一過で雲ひとつない青空を見ることが出来た。金木犀の花が大風に吹かれ、地面を橙色に染めていた。金木犀の木のそばで、壊れてしまった巣を一匹の蜘蛛がせっせと繕っていた。

その日の朝、キャンプに参加している子どもたちと外に出て、みんなで深呼吸をした。芝生の青い匂いと、金木犀の甘い香りが胸に広がった。眠気まなこだった子どもたちも、自然の空気を吸ってぱっちり目が覚めたようだった。虫探しを楽しむ子どもが、「雨の日にはね、虫は葉っぱのうらにかくれているんだよ」と教えてくれた。かけっこする子供たちの雨露に濡れた靴が、朝の陽光を浴びて、燦々と輝いていた。雨上がりの日のような青々とした新鮮な気持ちを、いつまでも忘れないようにしたいと思う。

(井上)



生き物 ★バードストライク★

先日、村内でバードストライクにより野鳥が死んでしまいました。

日頃、観察していてもほとんど見られない『ジュウイチ』というホトトギスの仲間です。さらに一週間後、今度は『クロツグミ』が同じ様な所で亡くなっていました。

バードストライクとは野鳥が人工物に衝突してしまう、まさしく不慮の事故です。原因は野鳥が窓ガラスに反射された空や樹木を見てそこに遮るものがないと勘違いしてぶつかることで発生します。

野鳥が衝突するときは、わずかな体重しかないのにとっても大きな音がします。その音は命の灯を消してしまう音です。早く、対策を講じたいと思います。
(高梨)



旬 ★栗★

太古の昔、縄文時代から食されていた馴染みのある食べ物です。栗には、炭水化物が多く含まれ、エネルギー源、疲労回復の効果があると言われています。その他、ビタミン・カリウム・食物繊維・ミネラル等が含まれバランスがとても良い食べ物です。是非、食べてみましょう。

日本の栗は、渋皮が剥きにくいので、渋皮ごと煮る『渋皮煮』に挑戦してみたいでしょうか。

(栗と重曹で煮だした液で、染物も楽しむことができます。重曹が媒染になります。) 栗は、秋を代表する食べ物です。皮を剥くのが手間ですが、美味しく調理して秋を満喫してみたいでしょうか。(菅原)



来月の見どころタマゴタケ(菌類)
キノコは、日本国内で五千種ほどあると言われている。キノコは、真菌類(カビ、キノコ、酵母)のことで、植物が光合成で葉緑素を作り独立栄養で生きていくのに対して、キノコは葉緑素を持たず寄生や腐生、共生等の活動をしながら従属栄養で生きている。
自然の中で見るキノコは、地球上を飛んでいる胞子が地面や朽木に着陸しそこで菌糸を作りそれが集まって子実体となったものである。
タマゴタケは、テングタケの仲間から秋にかけて生えるキノコ。初めは赤く次第にオレンジ色の変わっていく美しいキノコである。テングタケの仲間は、毒をもつものが多いが、タマゴタケは毒を持たない美味しいキノコである。黄色の柄の長さは十〜二十センチになり、大きくて目立つので見つけやすい。傘の裏の中心から放射状の溝線が見られる。柄の上の方につばがあるのも特徴の一つ。寄生、腐生、共生の働きがあるが、カメムシやセミなどに寄生する冬虫夏草はその不思議な形に驚くことがある。来月はキノコの観察に最適な季節。(吉田)